

市長定例記者会見報告事項概要

令和5年4月27日(木) 午前11時00分～

1. 令和5年市議会第2回臨時会の議案概要について

このたびの議案は、第55号の補正予算と、承認が1件、報告が4件である。

(1) 議案第55号「令和5年度5月補正予算(案)」について

物価高騰に伴い、国が、3月28日に給付金事業を中心とする予備費を使った対策を公表した。防府市では、国の給付金事業を1日も早く実施し、給付金をお届けするとともに、国からの交付金、更には一般財源を活用し、物価高騰への対策を講じることとし、総額12億5,600万円の補正予算とした。

① 1世帯あたり3万円の給付金

- 光熱費や食費などの物価高騰により、特に影響を受けている低所得の世帯を支援するため、令和5年度住民税均等割が非課税の世帯に対し、3万円を支給するための経費として、4億7,000万円を計上している。
- これは、国の交付金であり、用途は自治体に任されているものの、国が基準を示しているため、それに沿って1世帯3万円としている。

② 児童1人あたり5万円の給付金

- 特に影響を受けている低所得の子育て世帯を支援するため、令和5年3月分の児童扶養手当受給者等に対し、子ども1人当たり5万円を支給するための経費として、1億5,900万円を計上しており、5月中の支給を予定している。

③ LPガス利用世帯応援事業

- LPガスを利用している家庭のエネルギー費用の高騰を支援する。
- 標準世帯で月1,000円程度アップしているため、1月からの約半年

分ということで、対象世帯に対し、5,000円分の市内共通商品券を配布することとし、1億3,800万円を計上している。

④LPガス利用事業者支援事業

- LPガスを利用されている福祉施設や飲食店など市内事業者が行うLPガス消費設備の更新による省エネ対策の取組を支援することとし、5,000万円を計上している。
- 国では、上限1億円、補助率3分の1の補助制度があり、県では、下限50万円から上限500万円で、補助率2分の1の制度があるが、市では、小規模な事業者に対しても支援ができるよう、上限50万円とし、補助率については、コロナ対策として実施した様々な中小企業対策と同じく4分の3としている。

⑤省エネ家電更新促進事業

- 家庭での省エネを促進し、光熱費の負担軽減を図るため、省エネ効果のあるエアコン、冷蔵庫の更新を促進することとし、1億2,400万円を計上している。
- 市内共通商品券を5,000円単位でお配りし、最低購入額である5万円の場合、その2割にあたる1万円を還元する。購入額の2割で計算して5,000円単位の還元になるようにしている。
- 特に夏場の熱中症対策としてエアコンを使っていたきたいという思いから、夏を期限とし、早期に実施していただきたいと考えている。

⑥子ども成長応援事業

- 物価の高騰の影響を大きく受ける子育て世帯を支援するため、中学生以下の子どもに対し1万円分の市内共通商品券を配布することとし、1億8,000万円を計上している。

⑦タクシー利活用促進事業

- この4月からICOCAがJRの駅で使えるようになったことを契機に、交通系のICカードの普及を促進するため、交通系ICカードで支払うタクシー料金について、特に暑い時期である7月から9月の期間に、1乗車あたり300円の割引を行うこととし、3,000万円を計上した。
- この取組により、夏の大変暑い時期に、高齢者等の安全な移動の支援もできる。高齢者等に対し交通系ICカードを普及させたいという思いもある。
- また、まちの駅うめてらすでは、交通系ICカード利用者に対し、観光グッズをプレゼントするなど、観光施設の周遊による市内観光の活性化も図っていき、また、タクシー事業者の支援も行っていきたいと考えている。近距離でもしっかりと使っていただきたいと思っている。

⑧自治会防犯灯電気代支援事業

- 電気代の高騰により自治会の負担が急激に増加することのないよう、令和5年度の自治会防犯灯の電気代について、昨年度ではなく、値上がり前の令和3年度との差額分を臨時的に支援することとし、500万円を計上している。
- 支援額は、自治会の負担について、2年前の令和3年度からの増額分を全額支援することとしている。

⑨物価高騰対策 予備費

- 先行きが不透明であることから、緊急的に対応できるよう、1億円を計上している。
- なお、このたびの補正に先立ち、防府商工会議所から緊急的な物価高騰

対策に対する要望があり、この中で、「経済支援事業の実施にあたっては、地域内での経済循環の後押しへも配慮してほしい」という要望もいただいた。それを受け、このたび発表した中で、「LPガス利用世帯応援事業」「省エネ家電更新促進事業」「子ども成長応援事業」については、市内店舗で使用できる市内共通商品券を総額で3億5,000万円配布することとしており、いわゆるプレミアム商品券の発行と同じ効果があるものと考えており、市内経済の活性化にも繋がると考えている。

(2) 承認第1号 専決処分の承認を求めることについて

- 「地方税法等の一部を改正する法律」が3月末に公布されたことに伴い、防府市税条例及び防府市都市計画税条例の一部も、これに準じて改正する必要が生じたが、専決により措置したものを、このたびご承認いただくものである。
- この他、専決処分及び契約の報告案件を出させていただいている。

2. 輝き！ほうふプラン 実施状況について

- 第5次防府市総合計画「輝き！ほうふプラン」は、5年間の計画で、今年度は3年目にあたる年となるため、中間報告をまとめた。
- プランの最大の目標は、人口を令和7年度に11万2,000人以上にすることであり、そのために、若者の転出超過人数を、その前の5年間で864人だったものを、その半分にしようということを目標に掲げている。
- そうした中、令和5年4月21日時点の人口が11万3,386人となっている。当初の計画では、この4月時点の人口を11万2,833人としていたため、それを上回っている。
- 若者の転出超過人数については、5年間で430人以下という目標に対

し、令和4年度は、転入が125人多く、令和3年から令和4年の2年間で減が20人ということから、計画に沿った形で、全体の事業が進んでいるものと考えている。

- 特に昨年は、社会増が283人であり、中四国で一番多かったということからも、順調であると考えている。
- これからも、総合計画を確実に進めていきたい。

3. 地域おこし協力隊の募集開始について

- 本市では、観光分野で活躍いただく地域おこし協力隊を現在募集中で、既に応募もあり、これから選考をしていくところである。
- このたび、農業の分野で活躍いただく、地域おこし協力隊を募集する。
- 応募者の中から、書類選考と面接選考を行い、2名を採用予定である。
- 採用後は、防府市農業公社に勤務していただき、農作業の研修や、未耕作農地での農業機械の技能研修などで研鑽を積んでもらう。
- 隊員には、任期満了後には、防府市の農業振興の担い手として活躍してもらいたいと考えている。
- 志を持った人材の活躍によって、地域課題を解決するモデルを、ここ防府市から発信していきたいと思っている。
- 応募の締め切りは、来月31日までとなっている。
- 県の農林業の知と技の拠点が整備されたが、そのお膝元にふさわしい、土地利用型の農業でのチャレンジをしていきたいと思っている。

4. 市職員10月1日採用の募集開始について

- 防府市では、既卒者・社会人を対象とした、今年度の10月1日採用の職員を募集する。

- 今年度は、事務職員を10名程度、土木・建築・保健師の技術職員をそれぞれ若干名募集する。
- 既に大学を卒業されている方、民間企業にお勤めで転職希望の方、UJ Iターンで防府に来たい方に、来春を待たず、「10月採用」を打ち出すことで、多くの方に市職員に応募していただき、優秀な人材を確保していきたいと考えている。
- 募集要項の配布、願書の受付は、来週からとなっている。
- 市広報5月1日号の13ページに、募集の詳細を掲載している。

5. 連休期間中の観光イベントについて

- 明後日29日（土・祝）には、「春の幸せますフェスタ」が開催される。
- 佐波川では恒例の「こいながし、こいわたし」が来月3日（水・祝）から5日（金・祝）にかけて行われる。
- 毛利博物館では、先週から、毛利元就公の郡山入城500年を記念した企画展が開催中である。
- 周防国分寺では、明日28日（金）から30日（日）までの3日間、防府市出身の水彩画家である、戸田勝氏の絵画展が開かれる。